

東北大学大学院理学研究科博士課程後期1年（DC1） 高橋直也

2017年3月1日～3月10日（10日間）にかけて、ハワイ島・マウイ島・オアフ島の3島に滞在し、研修を行った。本研修の目的は、普段体験することのないフィールドワークや天文台の見学を通じて自らの研究領域以外の知見を広めること、環境・地球科学国際共同大学院プログラムのプログラム生として滞在予定であるハワイ大学に訪問し現地の先生方と交流することである。

ハワイ島ではキラウエア火山での巡検、マウイ島ではハレアカラ山頂の天文台の見学を行った。普段、話を聞くことのない火山学・岩石学・天文学を専門分野とする先生や学生との会話を通じて、火山の形成プロセスや天文学における観測誤差要因について学ぶことができ、知見を広めることができた。また、フィールドワーク中に見た景色は日本で見ることのできないものばかりで、とても感動した（写真1、2）。

オアフ島ではアメリカ海洋大気庁(NOAA)の施設である太平洋津波センターやハワイ大学の見学・訪問を行なった。ハワイ大学では大気・海洋、火山・岩石を専門とする先生方の講義を受けた。英語による授業だったが、本研修に参加した学部生からも多くの質問が飛び交い、講義をしていただいた先生方と活発な議論をすることができた。また、海洋物理学を主な専門とする先生方に自らの研究内容をお話しする機会があり、多くの助言を得ることができた。本研修でハワイ大学の雰囲気を感じ、先生方との研究についての議論をしたことで、これからの海外での研究生活への期待が高まった。

((次のページに写真を添付しました。))



写真1：オーシャンエントリー。溶岩が海に流れ込む場所。



写真2：ハレアカラで撮影した景色。